



ECAN っうしん

No.15

2022 年 6 月発行

理事長一言 「ECAN の財産」

早瀬 隆司



「ECAN の財産は何だろうか?」「折角の ECAN の財産は、上手く活かされて役に立っているだろうか?」ということを最近よく話しあいます。もちろん ECAN には、金銭的な意味での財産や旨味は有りません。ECAN の財産は、多様な分野の多様な人材が集まっていることにつけると思います。現在個人会員 88 名、企業団体会員 16 団体が集まってくださっています。しかし、この 100 に上る人材や団体の集合体も、相互の関わり合いや刺激の交換がないと、その財産を役に立てることはできないままに終わってしまいかねません。余計ですが、イノベーションも変革もコンビネーションから生まれるといわれます。今、ECAN で会員の方々が関わり合いコンバインできる交わりの場は、残念ですが、月に一度の「2070 年の NAGASAKI を想う会（サステなひろば）」と年に一度の総会に限られています。感染症への社会的な危惧の広がりのためもあり、このような機会はますます減少しているようにも感じます。新しいコンビネーションを広げ、活発にアイデアを交換し刺激しあえるような ECAN に発展するためにはどうすればいいのでしょうか?! 知恵を貸してください。

ECAN 火災の被害で大騒動

3 月 3 日の早朝、ECAN 事務所のあるプレジデント長崎で火災が発生しました。火元が ECAN 事務所の直上の 4 階の一人暮らしの方の住宅であったため、大量の消火用水が、ECAN 事務所に降り注ぎ、殆ど部屋全体が水浸しになりました。幸いに火元の方の保険で補償をしていただける予定で、財政的な負担は殆ど発生しない見込みです。また、部屋に備え付けの装置機材なども水を被ったため、部屋の貸主の側で、全体を新たに工事をしてやり替えることとなりました。数か月かかる見通しですが、部屋の真ん中にあった会議室との間仕切りを取っ払い、開放感のある明るい事務室にしたいと考えています。工事完了後を楽しみにしていただください。

なお、工事の期間内は、同じプレジデントビル長崎の 201 号室に仮の ECAN 事務所を開設しております。お立ち寄りください。

海のプラスチックを無くするために・・・漫画広報資料を作成しました

長崎県からの委託で、海のプラスチック汚染にかかる啓発活動の相談を受け、「令和3年度海洋ごみ発生抑制対策調査」業務を委託で実施しました。我々の生活に起因するごみの散乱状況を把握することと、それをもとに削減のための啓発資料を作成することに取り組みました。「便利はもとに戻らない」という、プラスチックごみの本質を突いた名言を考案された矢野理事が中心になって中本理事や、長崎大学のながさき海援隊の学生さんたちの協力を得ながら、この事業を切り盛りしてくださいました。

深刻な海岸漂着ゴミ問題への広い認識を持っていただくために、中原真希さんをお願いして広報用の漫画も作成しました。以下のウェブサイトからご覧ください。斬新ですよ！

<https://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2022/04/1649985880.pdf>

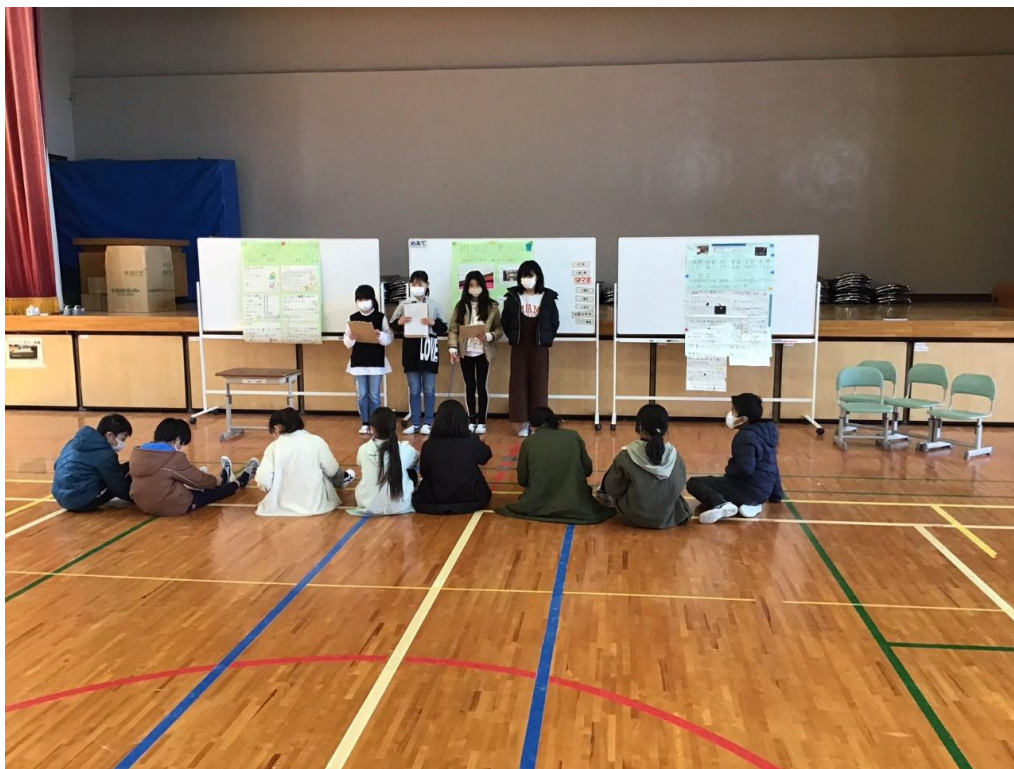


〔啓発資料の表紙 登場人物である博士と学生〕

将来の変革のために・・・ESD (ESD は「持続可能な開発のための教育」の略語です)

令和3年度は、長崎市立高城台小学校に加えて諏訪小学校においても持続可能な開発のための教育活動を実施しました。いずれも5年生を対象としたもので、関連団体のNPO法人ながさきエコネットと協力して環境活動団体の協力を得ながら実施しました。

自然、海のプラスチック汚染、散乱ごみ、地球温暖化や再生可能エネルギー、水質汚濁などについてレクチャーを受けた後、グループに分かれて、調査、体験学習を実施し、最後にグループ毎に研究考察をまとめ成果発表会を行いました。



〔高城台小学校 5 年生の成果発表会の様子〕

ゼロカーボンシティ長崎へ向けて・・・これからの貢献

長崎市は、昨年 3 月に、長与町、時津町とともに「ゼロカーボンシティ長崎」を宣言したことはご承知のとおりです。そして、今年 3 月には、カーボンニュートラルを視野に置いて、「長崎市地球温暖化防止対策実行計画」が改訂されました。ECAN では、これまで長崎市の地球温暖化対策に積極的に協力してきましたが、今後もますますやりがいのあるおもしろいことに取組んでいくことになりそうです。

ECAN の気候変動問題へのこれからの取組みは、①再生可能エネルギーの利用を通じた地域循環共生圏構築の支援、②エコアクション 21 の認定制度を通じた企業活動の透明化の推進、③次世代の活動の支援と持続可能な開発のための教育の 3 点を考えています。そして、これらの取り組みを、サステナプラザながさき（長崎市地球温暖化防止活動推進センター）の活動と連携させながら進めていきたいと考えています。

なお、令和 3 年 11 月 14 日（日）に開催した市民連携フォーラムに集まった大学生たち、次世代を担う若者は、「eco-N ながさき」という団体名で活動を継続しており、8 月には、市議会のゼロカーボンシティ特別委員会の場で、再度次世代の意見を届けることになりました。

（写真は今年の市民連携フォーラムの様子）



新会員紹介

新しい仲間が増えました。新会員の皆様、ようこそ環境カウンセリング協会長崎へ！

熊川 泰秀	令和3年09月22日加入
小柳 隆	令和3年11月08日加入
近藤隆二郎	令和3年12月11日加入
熱田 一信	令和4年02月16日加入

令和4年度会費納入のお願い

会費・寄付募集中！環境についてともに考え活動しませんか？

環境カウンセリング協会長崎は、事業者、学術機関及び行政のパートナーシップの形成を図り、それぞれの環境への取り組みを支援することを目的に設立されました。環境に配慮した社会を根付かせ、人と自然が共に生きる心豊かな長崎を次世代に引き継いでいくために、企業、団体、学術 機関、行政そして市民としてそれぞれの立場からのご支援とご協力をお願いいたします。

会員の種類	入会金	年会費
個人会員	1,000円	3,000円
学生会員		1,000円
企業会員		10,000円
団体会員		3,000円
賛助会員		一口5,000円以上

振込先

特定非営利活動法人
環境カウンセリング協会長崎
十八親和銀行 県庁支店
普通預金 0051154

ECANつうしん No.15 (2022年6月)

発行：NPO法人環境カウンセリング協会長崎
住所：長崎市五島町3-3 プレジデント長崎206号
E-mail：jimu@npo-ecan.org
URL：http://www.npo-ecan.org/

TEL：095-818-3305
FAX：095-826-3693

編集 早瀬・太田